

(別紙)

## 新 旧 対 照 表

| 変更前  | 変更後  |
|--|--|
| <p>1～3 . (略)</p> <p>4 . 地域再生計画の目標</p> <p>(略)</p> <p>その中で、豊岡市では新市全体を&lt;生活交流ゾーン&gt;&lt;高原体験ゾーン&gt;&lt;海の恵み体験ゾーン&gt;&lt;自然ふれあいゾーン&gt;の4つにゾーニングし、それぞれのまちを地域の特色により6つの拠点を設定している。具体的には、旧豊岡市地区を中心とした商工集積区域を&lt;賑わいの発信拠点&gt;、旧城崎町地区を&lt;観光の交流拠点&gt;、旧竹野町地区を&lt;海の交流拠点&gt;、旧日高町地区を&lt;もてなしの交流拠点&gt;、旧出石町地区を&lt;歴史と文化の交流拠点&gt;、旧但東町地区は&lt;緑と福祉の交流拠点&gt;として位置付けている。これらにより、<u>「地域の特性を活かした産業を創造したまちづくり」</u>、「<u>人・物・歴史を活かした産業を創造したまちづくり</u>」、「<u>交流を基盤とした快適で活力あるまちづくり</u>」を基本方針としたまちづくりに取り組んでいる。</p> <p><u>特に新市の&lt;生活交流ゾーン&gt;&lt;高原体験ゾーン&gt;区域となる旧日高町地区は、南北に伸びる国道312号、東西に伸びる国道482号の主要国道が通じているほか、コウノトリ但馬空港や県立但馬ドームの立地、蘇武トンネルの開通により、新市の南の玄関口のみならず、但馬地域の拠点として重要な位置づけにある。また、当地区は&lt;もてなしの交流拠点&gt;として、西日本有数のスキー場である神鍋高原を中心としたスポーツ・レクリエーション活動のほか、<u>棚田交流や花の栽培なども盛んに行われており、花いっぱい運動など生活に密着した活動を行い、例年約90万人の人々が当地域を訪れているところである。</u></u></p> <p><u>さらに、全国から多数のランナーが集まる「神鍋高原マラソン」</u>、<u>交流活動</u></p> | <p>1～3 . (略)</p> <p>4 . 地域再生計画の目標</p> <p>(略)</p> <p>その中で、豊岡市では新市全体を&lt;生活交流ゾーン&gt;&lt;高原体験ゾーン&gt;&lt;海の恵み体験ゾーン&gt;&lt;自然ふれあいゾーン&gt;の4つにゾーニングし、それぞれのまちを地域の特色により6つの拠点を設定している。具体的には、旧豊岡市地区を中心とした商工集積区域を&lt;賑わいの発信拠点&gt;、旧城崎町地区を&lt;観光の交流拠点&gt;、旧竹野町地区を&lt;海の交流拠点&gt;、旧日高町地区を&lt;もてなしの交流拠点&gt;、旧出石町地区を&lt;歴史と文化の交流拠点&gt;、旧但東町地区は&lt;緑と福祉の交流拠点&gt;として位置付けている。これらにより、<u>「みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり」</u>、「<u>地域の特性を活かした産業を創造するまちづくり</u>」、「<u>コウノトリが空に舞う、環境にやさしいまちづくり</u>」、「<u>人・物・歴史を活かした豊かな教育、文化創造のまちづくり</u>」、「<u>交流を基盤とした快適で活力あるまちづくり</u>」、「<u>支え合いで築く、住民主体、協働のまちづくり</u>」、「<u>行財政効率の高いまちづくり</u>」を基本方針としたまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>(削除)</p> |

| 変更前   | 変更後  |
|---|--|
| <p data-bbox="152 196 1104 419">を側面から支援する「森林ボランティア」、棚田の保全活動を行う「棚田交流人」、約2万年前の神鍋火山群の噴火による溶岩流をPRしていく「溶岩流まつり」等の事業、イベントとともに、この地域を&lt;もてなしの交流拠点&gt;として都市と農村との交流を重点的に促進し、地域の活性化を図っていくことを目指している。</p> <p data-bbox="152 435 1104 754">この地域再生計画では、これらの基本方針に沿い、道整備交付金により交流拠点を結ぶ新しいネットワークをつくり、様々な交流事業とともに、さらなる交流の促進を図り、豊かな地域資源を生かした観光、農林水産業、商業の振興、新産業の創造、雇用の確保の図ることを目指している。豊岡市は、新市の将来像を「未来創造 - 豊かな自然と文化を活かしたやすらぎのまち - 」としており、市の西南に位置する旧日高町地域での取り組みを他の地域へも波及させ、市域全体へと拡大していきたい。</p> <p data-bbox="152 818 1104 850">目標1 高速道路、空港、鉄道等との連絡網の形成および生活基盤の形成</p> <ol data-bbox="208 914 1104 1185" style="list-style-type: none"> <li>(1) 既成市街地と空港とのアクセス改善<br/>(所要時間約20分 約10分)</li> <li>(2) 市内観光ネットワークの形成と道路交通時間短縮<br/>(国道の整備により、神鍋高原 出石所要時間約50分 約40分)</li> <li>(3) 自歩道設置による安心安全な交通確保<br/>(国道自歩道設置の設置延長 国道1.7km)</li> </ol> <p data-bbox="152 1441 1104 1473">目標2 農山村地域周辺の路網整備による森林整備の推進および農山村地域</p> | <p data-bbox="1158 435 2112 754">この地域再生計画では、これらの基本方針に沿い、道整備交付金により交流拠点を結ぶ新しいネットワークをつくり、様々な交流事業とともに、さらなる交流の促進を図り、豊かな地域資源を生かした観光、農林水産業、商業の振興、新産業の創造、雇用の確保の図ることを目指している。豊岡市は、新市の将来像を「未来創造 - 豊かな自然と文化を活かしたやすらぎのまち - 」としており、<u>豊岡市の取り組みを他の地域へも波及させ、但馬のみならず県全体へと拡大していきたい。</u></p> <p data-bbox="1158 818 2112 898">目標1 高速道路、<u>幹線道路</u>、空港、鉄道等との連絡網の形成および生活基盤の形成</p> <ol data-bbox="1214 914 2112 1377" style="list-style-type: none"> <li>(1) 既成市街地と空港とのアクセス改善<br/>(所要時間約20分 約10分)</li> <li>(2) 市内観光ネットワークの形成と道路交通時間短縮<br/>(国道の整備により、神鍋高原 出石所要時間約50分 約40分)</li> <li>(3) 自歩道設置による安心安全な交通確保<br/>(国道自歩道設置の設置延長 国道1.7km)</li> <li>(4) <u>国道と幹線道路とのアクセス改善</u><br/>(国道178号 (主)豊岡港線は生活道経由 幹線経由5分短縮)</li> <li>(5) <u>地域間ネットワークの形成</u><br/>(主要幹線の補完路線 渋滞箇所の減少、災害連絡道等)</li> </ol> <p data-bbox="1158 1441 2112 1473">目標2 農山村地域周辺の路網整備による森林整備の推進および農山村地域</p> |

| 変更前  | 変更後  |
|--|--|
| <p>の活性化<br/> (整備の必要な森林への到達経路を改善するにより、森林整備の推進を図る)<br/> (農山村地域どおしを連携させ、相互に活性化を図る)</p> <p>目標3 交流・観光業の振興により交流人口の増加<br/> (年間の交流者 <u>90万人</u> <u>100万人</u>)</p> <p>5. 目標を達成するために行う事業<br/> (5-1) 全体の概要</p> <p>北近畿豊岡自動車道の整備に併せて、空港と高速道路、空港と国道312号線のアクセス交通網を整備し、鉄道や市街地との結節機能も充実強化させ、アクセス改善を目指す。</p> <p>また、合併した1市5町のそれぞれのまちの個性をネットワーク化することで、新市に広がる豊かな自然と多様な文化を活かしたより魅力的なまちを未来に向けて創造していくために、地域間のネットワークの強化を目指すとともに、長寿社会に対応したバスなどの公共交通や日々の暮らしを支える生活道路の整備を進め、安心安全な交通路を確保するため、自歩道を整備するなどすべての人に優しい地域づくりを行っていく。</p> <p><u>特に、豊岡市日高町では、スキー場や温泉地、キャンプ場等の観光資源が広がっていることから、毎年多数の観光客が訪れている反面、山間地には高齢化が進みつつある集落が点在していることから、このような観光資源を有効に活用し、周辺地域を&lt;もてなしの交流拠点&gt;として位置づけることにより、山間地に点在する集落を連絡する道路網を整備し、訪れる人々との気持ちのいい交流が図れるようまちづくりを進めていく。</u></p> <p><u>このため、河江地区と頃垣地区を結ぶ林道と併せて市道山宮河江線の拡幅改良を実施するとともに、田ノ口地区と栃本地区を結ぶ林道田ノ口栃本線の舗装を行う。</u></p> | <p>の活性化<br/> (整備の必要な森林への到達経路を改善するにより、森林整備の推進を図る)<br/> (農山村地域どおしを連携させ、相互に活性化を図る)</p> <p>目標3 交流・観光業の振興により交流人口の増加<br/> (年間の交流者 <u>557万人</u> <u>600万人</u>)</p> <p>5. 目標を達成するために行う事業<br/> (5-1) 全体の概要</p> <p>北近畿豊岡自動車道の整備に併せて、空港と高速道路、空港と国道312号線のアクセス交通網を整備し、鉄道や市街地との結節機能も充実強化させ、アクセス改善を目指す。</p> <p>また、合併した1市5町のそれぞれのまちの個性をネットワーク化することで、新市に広がる豊かな自然と多様な文化を活かしたより魅力的なまちを未来に向けて創造していくために、地域間のネットワークの強化を目指すとともに、長寿社会に対応したバスなどの公共交通や日々の暮らしを支える生活道路の整備を進め、安心安全な交通路を確保するため、自歩道を整備するなどすべての人に優しい地域づくりを行っていく。</p> <p><u>その他、山間部の基盤整備として県・市が一体となった林道整備を進めることにより、山間部の点在した集落を連絡する道路網を構築するとともに、周辺に広がる豊かな森林資源を適切に整備することにより森林の多面的機能の向上を図る。</u></p> <p><u>このため、豊岡市域の国道178号線と(主)豊岡港線とのアクセス改善のため市道大開一日市線の拡幅改良。竹野地区の阿金谷地区と轟地区を結び、(主)日高竹野線の補完路線及び災害連絡道として市道阿金谷轟線の拡幅改良、日高町域の河江地区と頃垣地区を結ぶ市道山宮河江線の拡幅改良及び林道河江頃垣線の開設、田ノ口地区と栃本地区を結ぶ林道田ノ口栃本線の舗装、但東</u></p> |

| 変更前  | 変更後   |
|--|---|
| <p><u>また、地域相互の連絡を安全かつ円滑にするものである。</u></p> <p>5 - 2 ) 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業<br/>道整備交付金を活用する事業</p> <p>〔施設の種類（事業区域）実施主体〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市道（豊岡市） 豊岡市（道路法の規定による市道認定済み）</li> <li>・ 林道（豊岡市） 豊岡市（地域森林計画に定める林道に記載し林道台帳に搭載済み）</li> </ul> <p>〔事業期間〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市道（平成 1 8 ~ 2 0 年度） 林道（平成 1 7 ~ 1 8 年度）</li> </ul> <p>〔整備量及び事業量〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市道 0 . 2 6 km、林道舗装 2 . 9 2 km</li> <li>・ 総事業費 9 7 , 0 0 0 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>市道 4 0 , 0 0 0 千円（うち交付金 2 0 , 0 0 0 千円）</li> <li>林道 5 7 , 0 0 0 千円（うち交付金 1 9 , 0 0 0 千円）</li> </ul> </li> </ul> | <p><u>地区の国道 428 号線、（主）宮津養父線の迂回路線及び過疎山村地域の産業振興として市道太田虫生線の拡幅改良及び林道床尾線の開設を行う。この内、林道床尾線については、複数の過疎地域を連絡する基幹的な林道として県が代行して開設事業実施する。</u></p> <p>5 - 2 ) 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業<br/>道整備交付金を活用する事業</p> <p><u>対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>市道山宮河江線 道路法に規定する町道に昭和 6 0 年 3 月 1 8 日に認定済み。</u></li> <li>・ <u>市道大開一日市線 道路法に規定する町道に昭和 5 9 年 3 月 2 6 日に認定済み。</u></li> <li>・ <u>市道阿金谷轟線 道路法に規定する町道に平成 1 2 年 7 月 1 1 日に認定済み。</u></li> <li>・ <u>市道太田虫生線 道路法に規定する町道に昭和 6 1 年 1 月 6 日に認定済み。</u></li> <li>・ <u>林道田ノ口栃本線 森林法による円山川地域森林計画（平成 1 7 年 4 月 1 日樹立）に路線を搭載。</u></li> <li>・ <u>林道河江頃垣線 森林法による円山川地域森林計画（平成 1 7 年 4 月 1 日樹立）に路線を搭載。</u></li> <li>・ <u>林道床尾線 森林法による円山川地域森林計画（平成 1 7 年 4 月 1 日樹立）に路線を搭載。</u></li> </ul> <p>[施設の種類（事業区域）事業主体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市道（豊岡市） 豊岡市（道路法の規定による市道認定済み）</li> <li>・ 林道（豊岡市） 兵庫県及び豊岡市<br/>（地域森林計画に定める林道に記載し林道台帳に搭載済み）</li> </ul> <p>[事業期間]</p> |

| 変更前  | 変更後  |
|--|--|
| <p>(5-3) その他の事業</p> <p>地域再生法による特別の措置を活用するほか、<u>山林、農地、溶岩流などの地域資源を活用した豊かな地域資源を活かした住民参加の地域づくりにより、交流を深めます。</u></p> <p><u>神鍋高原マラソン：約70万年から2万年前に噴火した火山群により誕生した神鍋高原では、年中楽しめる四季型リゾートとして京阪神を中心に多くの交流人が訪れている。8月最終日曜日には神鍋高原マラソン全国大会が開催され、全国各地から約5,000名のランナーが集まり、市民ボランティアは1,000名を越えている。</u></p> <p><u>森林ボランティア：緑の少年団は、西気小学校及び清滝小学校全児童160人が団員となり、森や緑に関する学習活動、地域の社会奉仕活動、キャンプ等のレクリエーション活動を通じて心豊かな人間を育てることを目的に結成された。</u></p> <p><u>具体的な活動としては、広葉樹の植樹や地域の貴重な巨樹（桜）の保存活動、スキーシーズン後の神鍋山のクリーン作戦、全国から健脚が集う神鍋高原マラソン全国大会での参加者への花苗のプレゼントを行っている。</u></p> <p><u>棚田交流人：棚田を保全するため、意欲のある人を「棚田交流人」として募集し、維持保全活動を行っている。平成12年度から毎年延べ6集落で交流会を開催し延べ300名の交流があった。平成17年度も</u></p> | <p><u>・市道（平成18～21年度） 林道（平成17～20年度）</u></p> <p><u>〔整備量及び事業量〕</u></p> <p><u>・市道 2.64km、林道 3.98km</u></p> <p><u>・総事業費 1,879,924千円（うち交付金926,499千円）</u></p> <p><u>市道 1,456,000千円（うち交付金728,000千円）</u></p> <p><u>林道 423,924千円（うち交付金198,499千円）</u></p> <p>(5-3) その他の事業</p> <p>地域再生法による特別の措置を活用するほか、<u>コウノトリ、海、山、温泉など豊かな地域資源を活かした住民参加の地域づくりにより、交流を深めます。</u></p> <p><u>豊岡市環境経済戦略：環境と経済が共鳴するまち</u></p> <p><u>本年9月のコウノトリ放鳥、野生復帰への活動が日本のみならず世界へ、コウノトリの舞うまち豊岡市として発信。</u></p> <p><u>今後コウノトリを核とした「集まる」「くつつく」「動く」の組み合わせで環境経済の取組を生み出す。</u></p> <p><u>コウノトリ但馬空港フェスティバル：但馬空港の利活用を図るとともに、地域の活性化や、新しい但馬づくりを創出する「但馬交流人」の増加を促進するため、毎年8月の最終土日に開催。</u></p> <p><u>城崎YOSAKOIまつり：城崎温泉は全国でも有名な温泉地であり、その城崎温泉街をYOSAKOI踊り一色に染める。地元のみならず京阪神からの参加が多く、毎年6月最初の土曜日に開催。</u></p> <p><u>竹野北前まつり：竹野海岸は平成8年に「日本の渚百選」に、その中心に位置する竹野浜は平成11年に「日本の水浴場55選」（現在は、88選）に選定されるなど、毎年多くの海水浴客が訪れる。また、この地域は、「北前船」の寄港地として栄えた歴史があり、毎年5月にまつりが開催される。</u></p> |

| 変更前  | 変更後  |
|--|--|
| <p>6月に計画している。</p> <p>交流は除草や棚田の枯れ草焼き、夜は民家やお宮で懇談する。実施した集落では棚田がよみがえり、小豆、イモ、蕎麦などを植え、収穫を楽しんでいる。</p> <p>都市と農村交流では特別栽培米《土香り》を通じ、コープ神戸と交流が始まり、生産者と消費者の顔の見える関係づくりを進めている。</p> <p>溶岩流まつり：約2万年前の神鍋火山群の噴火によって形成された稲葉川の溶岩流を広くPRするとともに、地元の資源を多くの人に知ってもらい、大切にしてもらおうと、清滝地区のみなさんが実行委員会を組織して取組まれているもので、溶岩流スタンプラリー、餅まき、地元小中学校や保育園の出演、特産品のバザーなど地元で精一杯の祭りを演出している。今年で4回目を迎え、本年は4月29日(金)に実施し、約1,800人が訪れた。</p> <p>6．計画期間<br/>平成17年度～20年度<br/>7～8． (略)</p> | <p>神鍋高原マラソン：神鍋高原には、年中楽しめる四季型リゾートとして京阪神を中心に多くの交流人が訪れる毎年8月最終日曜日に神鍋高原マラソン大会が開催され、約5,000名のランナーと1,000名を超えるボランティアが参加する。</p> <p>出石お城まつり：出石は但馬の小京都と呼ばれ、また出石そばはブランド化している。毎年11月3日に城下町出石を象徴する「出石お城まつり」が行われ、町無形文化財「大名行列槍振り」の妙技が見ものである。また、三たん一の行事として雪の但馬に春到来を告げる「初午大祭」もある。</p> <p>但東チューリップまつり：但東町は、三方が京都府に面しており、産業や生活の面でも京都との交流がある。伝統ある絹織物の産地として「但馬ちりめん」を産出している。チューリップまつりは100万本の色とりどりのチューリップが畑一面に咲き誇る。一番の話題はチューリップで描く大きなフラワーアートであり、期間中は約250品種を取り揃えたチューリップ見本園やチューリップ狩り、鉢植販売、写真コンテスト、各種バザーなどさまざまなイベントが開催され、多くの人たちで賑わう。</p> <p>6．計画期間<br/>平成17年度～21年度<br/>7～8． (略)</p> |